株式会社アイ・エム・シー・エイ様に対する『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第 2 回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024 年 8 月 28 日（水）に実行した九条支店取引先 株式会社アイ・エム・シー・エイ（大阪府大阪市港区 代表取締役社長 宮島 太郎）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※1）』に対し、2 回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI 達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナビリティ経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1） お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得している。

記

■企業の概要

会 社 名　株式会社アイ・エム・シー・エイ
所 在 地　大阪府大阪市港区弁天 1 丁目 2 番 1 号
業　　種　宝飾品小売業

【サステナブルな取組み】

当社は地域のプロスポーツチームへの協賛や自治体・学校への寄付など、社会貢献活動を積極的に推進してきました。また、働きやすい職場環境の構築やオレンジリボン活動を通じた児童福祉活動への協力にも取り組み、サステナビリティ経営の幅を広げています。こうした活動をさらに加速させ、当社が提供する宝石・サービスを通じて社会に対しどのような価値を創出できるかを常に考察し、日々の業務にもサステナビリティの理念を浸透させていきます。

※株式会社アイ・エム・シー・エイの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第 2 回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以　上

株式会社アイ・エム・シー・エイ

ポジティブインパクトファイナンス

第2回モニタリング報告書



2026年11月12日

いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

目次

1. 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要……1

2. 目標達成に向けた進捗状況……2

3. 総評……3

1. 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要

企業名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
設立	1971年9月
代表者名	代表取締役社長 宮島太郎
資本金	5,000万円
従業員	61人（2026年7月31日時点）
売上高	37億円（2025年9月期）
事業拠点	本社 〒552-0007 大阪府大阪市港区弁天1-2-1 専用工房 〒400-0041 山梨県甲府市上石田4-8-23
主な事業内容	宝石・貴金属の輸入・制作・卸業・販売 不動産賃貸業 ホテル運営事業 飲食店運営事業（IMCA Hotel内 鉄板焼きレストラン宝希花　BAR MIURO）
自社ブランド	ALISIA CALAR（アリシア カラー） 商標登録第4990608号





2．目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	環境的側面において、NIを緩和
内容・対応方針	社用車のエコカー（EVもしくはHV）比率を高める。
KPI	2027/9期までに社用車のエコカー比率を70%にする。 （2023/9期:50%）
KPIの進捗状況	2025/9期実績：50% 車輌の入替えが発生せず、昨年と同数値となった。 引続き今後の車輌購入時には、ハイブリッド車等のエコカー購入にて対応していく方針。

項目	内容
インパクト	環境的側面において、NIを緩和
内容・対応方針	DX、ペーパーレス等により廃棄物量を削減する。
KPI	2027/9期までに全社の紙使用量を2023/9期比20%削減する。 （2023/9期:約200kg）
KPIの進捗状況	2025/9期実績：約200kg（2023/9期比：0%削減） 事務作業等による電子化は進めているものの、積極的な営業展開（DM送付先の増加等）により、使用量は昨年とほぼ同数値となった。引続き、紙使用量を削減していく方針。

項目	内容
インパクト	社会的側面において、PIを拡大
内容・対応方針	在庫の充実や社員のスキル向上を通じ、顧客の満足度を高める。
KPI	2027/9期までに宝石小売業の売上高55億円とする。 (2023/9期:約38億円)
KPIの進捗状況	2025/9期実績：37億円（前期比+2億円） 人員及び営業チームの増加とデザイン面の改善等の高い付加価値を加えた営業展開により、売上は前期比で増加した。営業チーム一丸となった社員教育を実施しつつ、目標達成に向けた活動を継続していく。

項目	内容
インパクト	社会的側面において、PIを拡大
内容・対応方針	ホテル・飲食店ゲストに地域の歴史や日本文化・風土をより実感させる。
KPI	2027/9期までにホテル年間宿泊者数を200名以上にする。 （一般向けの予約開始は2025/9期以降を予定）
KPIの進捗状況	2025/9期実績：1,000名を達成 プロスポーツチーム・地域スポーツチームの選手及びその家族等を誘致。地域社会の皆様を応援することで、目標を大きく上回る結果となった。引続き、地域貢献に資する対応を行っていく。

項目	内容
インパクト	社会的側面において、PIを拡大、NIを緩和
内容・対応方針	社員の営業・接客スキルを高め、業務成績を向上させる。 女性社員の営業リーダーへの昇格希望が出しやすいよう、研修や面談にて啓発活動を行う。
KPI	①2027/9期までに平均年収を2023/9期比20%上昇させる。 ②2027/9期までに営業リーダーにおける女性比率を30%とする。（2023/9期:13%）
KPIの進捗状況	2025/9期実績（2023/9期比）：①▲10.9%、②10.0% ①営業成績の高い社員には一定のインセンティブを与えたが、新入社員の増員等により、社員総体での平均年収は減少となった。 ②比率としては前年と同数値ながら、営業リーダーに相応しい女性社員の育成に努めており、引続き比率の向上を目指していく。

3．総評

目標5項目のうち達成は1項目のみ。残りの4項目については、未達成となっており、今後の取組み強化が必要。

エコカー比率については、車輌の入替えが発生しなかったため前期と同水準で推移。現在利用している車輌のリース期間満了時期や耐用年数満了時期を明確化することで入替優先順位を設定し、年間1～2台の入替えによりエコカー比率改善を図っていく。また入替えにあたっては補助金の活用またはリース契約への切替えによるイニシャルコスト削減をアドバイスしていく。

紙の使用量削減についても、前期と同水準で推移。提案書の電子化等により削減を実現する一方、DM発送等により、紙の使用量が増加したことによるもの。今後も売上増加施策としてDM発送を予定しており、大幅な削減は難しい状況であるが、電子化によるペーパーレス化に注力していく。

宝石小売業の売上高については、営業チームの増加やデザイン面の改善等の高い付加価値を加えた営業展開により、前期比（2024/9期売上高35億円）で増加したが、目標とする売上高55億円までには大きな乖離がある。引続き、DM発送による催事案内を実施し、既存顧客への販売及び新規顧客獲得により売上増加を図る。

ホテル年間宿泊者数については、地域スポーツチームの選手及びその家族等を誘致したことで、前年度実績（500名）を大きく上回る結果となった。

雇用面については、平均年収及び営業リーダーの女性比率はともに未達成となった。平均年収は、新入社員の増加等が影響し減少した。また、女性の営業リーダー比率は営業リーダー全体が増加（8名→10名）する一方で、新たな登用が無く比率が低下。OJTや人事制度の整備により女性リーダー登用を推進しているが、新たな登用には至っていない。引続き、積極的なリーダー登用を図り、女性リーダー比率向上を目指していく。

百十四銀行としても、コンサルティング機能の提供（経営コンサル・人事制度等）により、株式会社アイ・エム・シー・エイの取組みを支援していく。